

カテーテルアブレーション治療を受けた患者さん・ご家族様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがありますので、ご了承ください。

【対象となる方】信州大学医学部附属病院循環器内科および共同研究機関において、カテーテルアブレーション治療を受けられた方

【研究計画名】長野県及び信州大学関連病院におけるカテーテルアブレーション症例の予後調査（Shinshu-AB Registry）

【研究代表者】信州大学医学部附属病院 循環器内科 教授 桑原宏一郎

【研究の目的】長野県及び信州大学関連病院におけるアブレーション治療の現状（施設、疾患分類、治療方法、使用道具、成功率、合併症）を把握することにより、特に日本一の長寿県である高齢者を含めた対象とする症例への治療の有効性、安全性、リスク、疾患地域性を明らかにします。

【利用する診療情報】この研究に必要な項目は通常の臨床記録から得られる情報となります。性別、生年月、年齢、入院日、身長、体重、血圧・脈拍、喫煙習慣、飲酒習慣、薬物アレルギーおよび透析歴、既往・合併症、血液生化学検査、ホルモン検査、12誘導心電図、ホルター心電図、経胸壁心臓超音波検査、不整脈のデータ（診断確定時期、病型）、薬内服状況、アブレーション治療の方法と効果、アブレーション治療の後の合併症等

【研究方法】共同研究機関にて、アブレーション治療を受けられる方の基本情報や検査結果等を登録し病名と治療内容、方法を確認します。また退院後に起こった有害事象や再発の有無等治療後36か月後まで確認させていただきます。

【共同研究機関（研究責任者氏名）】

上越総合病院（籠島充）、長野市民病院（笠井俊夫）、長野中央病院（河野恆輔）、長野赤十字病院（臼井達也）、信州上田医療センター（高橋済）、佐久医療センター（南野安正）、浅間南麓こもろ医療センター（佐藤秀明）、北アルプス医療センターあづみ病院（富田威）、松本協立病院（小山崇）、相澤病院（小口泰尚）、諏訪赤十字病院（相澤万象）、伊那中央病院（竹内崇博）、飯田市立病院（片桐有一）

【外部機関への研究データの提供】

上記の診療情報を、信州大学医学部附属病院循環器内科および共同研究機関と共有して、共同で研究を進めます。

【研究期間】 研究許可日より 2026 年 5 月 31 日

【個人情報の取り扱い】 お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表いたしますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用いたしません。

【問合せ先】 浅間南麓こもろ医療センター 循環器内科

担当医師：佐藤 秀明

TEL：0267-22-1070（平日 9：00～17：00）

信州大学医学部附属病院 循環器内科

TEL：0263-37-3486